

注 意 事 項

1 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により東北大会参加の資格を得た者に限る。
- (3) 年齢は、平成12年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) 全日制課程・定時制課程・通信制課程の混合チーム及びダブルスは認めない。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等やむを得ない理由の場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する校長および専門部会長の承認を必要とする。
- (7) 参加資格の特例については、「全国高校総体参加資格」に準ずる。
- (8) 選手は、各都道府県の予選、高等学校体育連盟主催の地域大会に参加しなければならない。参加しない選手は出場を認めないこともある。

2 競技方法

- (1)〔団体〕複1組、単2人のトーナメント方式とする。試合方式は1セットマッチとし、6ゲームオール後は、ITFタイブレイク方式を採用する。ただし、準決勝・決勝は8ゲームプロセットで行う。
単試合の実力順にNo.1～No.5の5人を登録する。登録に際しては、県予選のベスト8以上の者を上位とする。複試合は5人の中から適当に1組をつくり、単試合は残り3人のうちどの選手が出場してもよいが、単試合に出場する2人のうち登録順位の高い者をNo.1としてオーダーを提出する。
- (2)〔個人〕男・女、単・複ともトーナメント方式とする。準々決勝までは1セットマッチとし、6ゲームオール後は、ITFタイブレイク方式を採用する。ただし、準決勝・決勝は8ゲームプロセットで行う。
- (3) 天候等により、試合方法を変更する場合がある。
- (4) 選手変更は原則として認めない。ただし、負傷、疾病等やむを得ない事情が生じた場合は、所定の用紙に診断書等の理由を付して、各県の専門委員長が取りまとめ、6月21日（金）12時までに大会事務局（レフェリー）に提出された場合のみ認めることもある。

3 試合の順序・方法について

- (1) 試合の順序は、あらかじめ予定されたタイムテーブルに従って行うことを原則とする。
- (2) 団体戦について
 - ア 受付は8時10分から8時30分までとし、初戦のオーダーは、8時30分までに本部へ提出する。
 - イ 記入したオーダー用紙は、試合開始前に本部で点検を受け、返却された1部をコート上で対戦校と交換する。
 - ウ 試合は1回戦については1面展開で、複、単No.1、単No.2の順に行うことを原則とする。2回戦からは2～3面展開とする。
 - エ 原則として、1回戦では全ポイントを行うが、2回戦以降は2ポイントで勝敗が決した場合、次の試合を行わない。
 - オ 1回戦では2ポイントで勝敗が決した場合、相手校の了解を得て次の試合の選手を変更することができる。ただし、本部（レフェリー）に届けること。
 - カ ベンチコーチは1コートにつき1名とするが、登録された監督、選手以外は認めない。
- (3) 個人戦について
第2日目より実施する。第2日目以降の受付は8時10分から8時30分までとする。

4 試合の進行について

- (1) 試合開始指定時刻の前に、選手は指定コートにすぐに試合のできる服装で入り、直ちにトスによりエンドを決める。試合前のコートでの練習はサービス4本とする。
- (2) 選手は20秒ルール、90秒ルールを厳守する。
- (3) 試合はすべてオーダーオブプレーで進行する。個人戦では、控えの選手は試合終了後直ちに指定のコートに入る。
- (4) 試合の進行を妨げるような発声、相手を威嚇するような言動・態度は禁止する。
- (5) 原則として、シングルス試合では双方1名のボールパーソンを出す。

5 棄権・失格について

- (1) 試合開始指定時刻に選手がコートに入っていない場合。
- (2) レフェリーや審判の指示に従わない場合。
- (3) 痙攣等によりプレーが続行できない場合。
- (4) その他ルールに違反した場合。

6 試合の中断、コートや試合会場の変更について

- (1) 荒天、試合の遅延などによる中断、コートや試合会場の変更はレフェリー判断とする。

7 選手およびボールパーソンの服装について

- (1) 「清潔で礼儀正しい習慣的に認められているテニスウェア」とする。
- (2) 不適当なものはレフェリーの判断で更衣させる。

8 6月21日(金)の日程について

- (1) 公式練習：12時～14時に大会会場にて実施する。
コート割りについては当日会場にて発表する。
- (2) 監督会議：14時30分より、泉総合運動場泉体育館会議室にて行う。
- (3) 開会式：15時30分より、泉総合運動場泉体育館にて行う。
- (4) 団体戦組合せ抽選会：開会式終了後実施する。
団体戦出場校の監督・選手は必ず参加するものとする。

9 その他

- (1) 団体戦ではドロー番号の小さい学校が赤の番号札、番号の大きい学校が青の番号札を左腰に付ける。
- (2) 試合に着用するユニフォームには、右胸に学校名を掲示すること。
90mm×160mm(全国大会と同様のもの)
- (3) 特定の選手を応援する目的で、大声や罵声を発したり、ジェスチャーや器具を用いたりするなどして、相手選手または審判などの心理を攪乱させるような行為をしてはならない。ただし、団体戦においては、真にチームの奮起を促すための声援を目的とする場合はこの限りではない。ただし、他のコートの試合に迷惑をかけてはならない。また、これらの声援はプレーとプレーの間の定められた時間内(20秒、90秒)以外に行ってはならない。
- (4) ガットマーク(ステンシル)は禁止する。
- (5) 審判は主管県の補助員が行う。
- (6) 競技中の傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。また、参加選手は、必ず健康診断を受けるとともに、健康保険証を持参すること。
- (7) 選手は必ず当該校教職員によって引率され、引率責任者は選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。
- (8) 宿舎での食事時間や宿泊に関する細かな変更については直接宿舎と相談してください。
- (9) 開会式は体育館となるので、**室内用シューズ**をご持参ください。